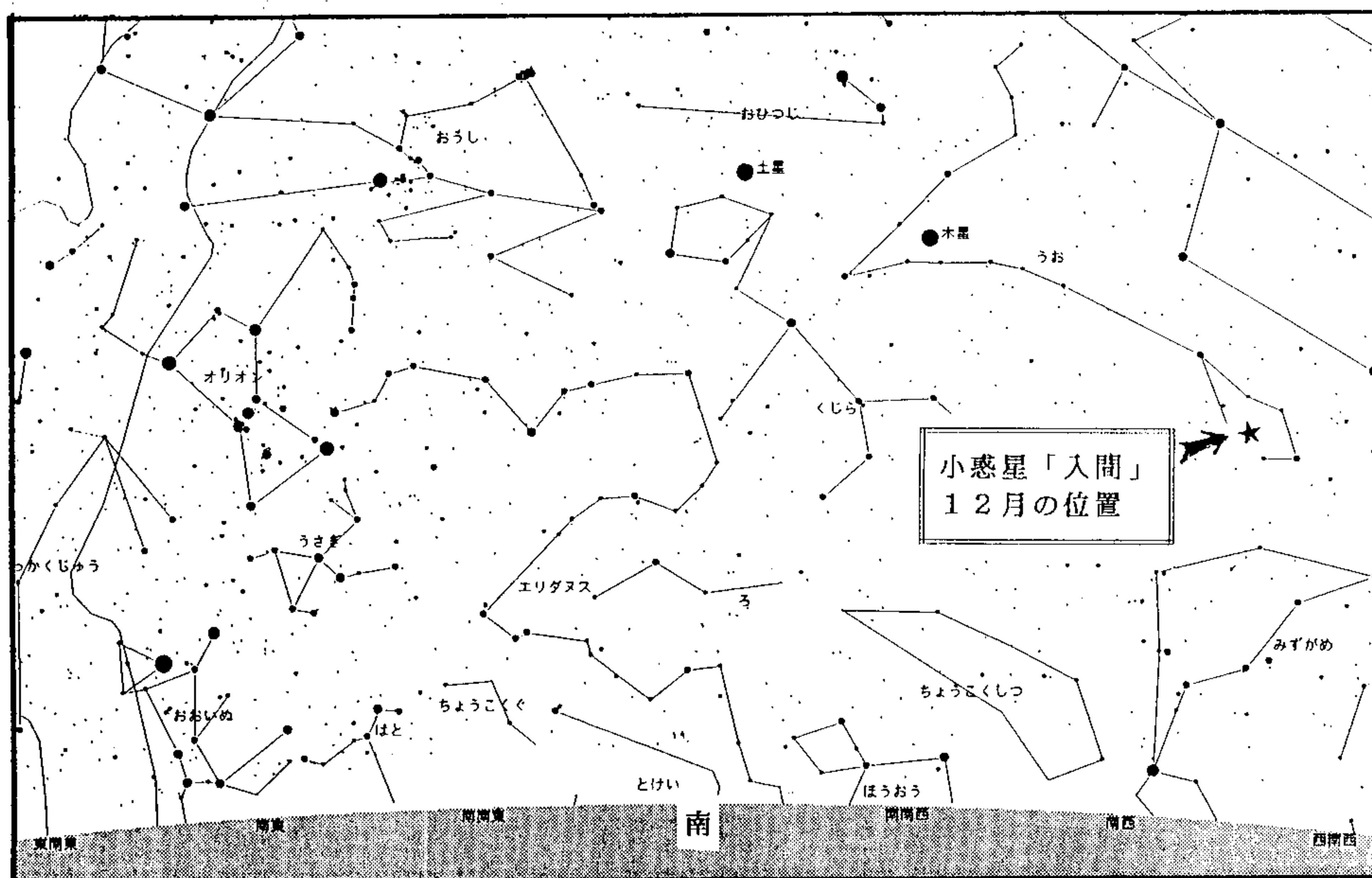


プラネタリウムへようこそ！

(1999年12月号)

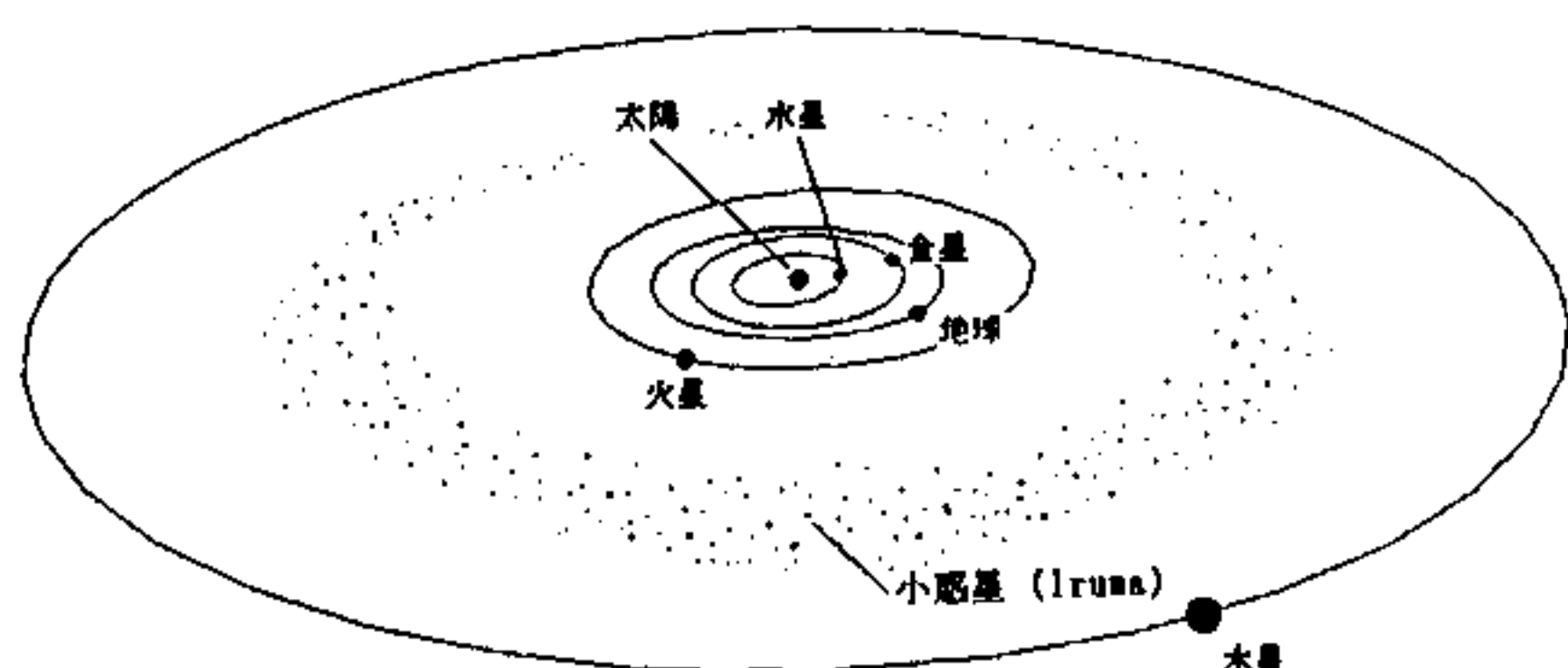
入間市児童センター-12月の星空 (資料協力: 児童センター天文ボランティア)



(入間)

小惑星 I r u m a 誕生！！

《1999年12月の位置》



【小惑星とは】太陽の周りを約4年かけて一周する天体で、火星の軌道と木星の軌道の間に多く集まっています。19世紀の初めに発見され現在まで数多く発見されている天体です。

【命名までのルール】発見者が命名できる唯一の天体は小惑星です。小惑星は時間とともに位置を変化させていくので軌道を精確に計算できるよう長い間、観測する必要があります。小惑星の軌道が

精確になると、国際天文学連合という世界的な機関で正式に認定されます。

【小惑星“I r u m a”とは】アメリカのパロマー山天文台で1960年から観測経歴のある小惑星ですが、児童センター職員が1996年12月から観測を行い軌道を算出することができました。この小惑星“I r u m a”は『埼玉県入間とは日本の伝統的な書物である万葉集に記載され、日本最初のお茶の博物館があることで知られる』と世界に紹介されました。